

9月のできごと

街のアルバム



最高齢者表敬訪問
小磯摩哉さん(天間)
(九月十五日)



富士のやぶ北茶を味わう 「富士市お茶まつり」

9月24日 10月5日に静岡市で開かれた「世界お茶まつり」のプレイベントとして「富士市お茶まつり」が中央公園で行われました。会場では、富士市茶手揉保存会によるお茶の手もみの実演・体験をはじめ、日本茶インストラクターによるお茶の入れ方教室、野点、クイズラリーなどの各種イベントが繰り広げられ、多くの家族連れなどでにぎわいました。



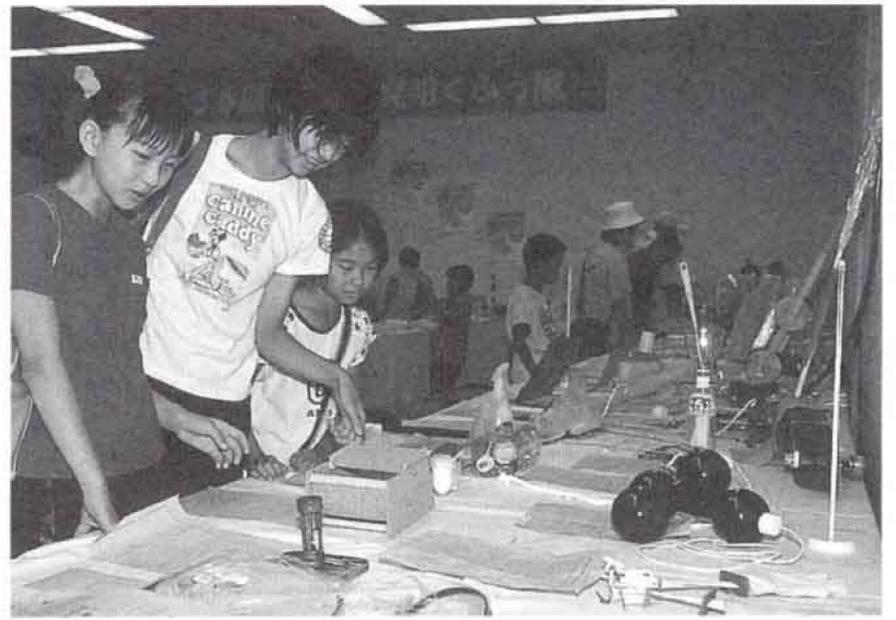
とうとい命を救う技術の習得を 「一日救急隊員体験」

9月6日「救急の日」のキャンペーン活動の一環として、救急医療や救急業務に対する正しい理解と知識を深めるため、富士准看護学院生9人による「一日救急隊員体験」が行われました。学院生たちは、消防防災庁舎の見学をはじめ、高規格救急車の説明を受けたほか、救急救命士の指導による心肺蘇生術法を学び、救急医療の大切さを再確認しました。



大人気、生シラスどんぶり 「第3回 田子の浦漁協しらす祭」

9月30日 駿河湾の特産物「シラス」を広くPRしようと、第3回田子の浦漁協しらす祭が行われ、会場となった田子の浦漁業協同組合では、生シラスや釜揚げシラスの販売、シラス漁船の体験乗船などが行われました。中でも生シラスどんぶりは、朝ごはんにと開会前から長蛇の列ができるほどの人気ぶり。皆さんは「おいしい」と舌鼓を打ち、新鮮なシラスを味わっていました。



工夫を凝らした発明品がズラリ 「富士市発明くふう展」

9月15・16日 小中学生らが夏休みを利用して取り組んだ作品などを集めた「富士市発明くふう展」がロゼシアター展示室で行われました。会場にはバラエティーに富んだ作品が展示され、訪れた人々は、作品の一つ一つに興味深く見ていました。市長賞には、牛乳パックの新しい開け方を発明した岳陽中学校3年、草間啓史君の「汚れない開け方」が選ばれました。